

北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料

2015年4月25日 謁見収録 No.01

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

あそこに遊んでおる先輩がおるから大丈夫や

メンバー：

よろしくお願いします

メンバー：

本当に遊んでいるんですか？

メンバー：

何もしていないんですか？

メンバー：

安定で入るものがあるって何となく・・・

北野会長：

そうか・・・そのうちルンペンの会って会の名前を変えんといかんね！ 笑 みんな働いていないということになれば・・・これはルンペンの会とかさ・・・

真田 孔明：

ニートの会！無職の人じゃないと入れない！

北野会長：

無職になれば金が・・・金持ちになったという証明やからね。だから、これを30年前に・・・ちょうど30年ちょっと前かもしれないけど、東京の先生に言われてね。円の中におるやつは住宅ローンしか借りることはできないと。はみ出し者だからこそできることは金をね、国の金を吸い込むことができる。そのときにちょうど重ねて言われた。本当の日本の金持ちはみんな無職なんやと・・・貧乏なやつどもが一生懸命、必死に働いておるだけやゆうて・・・あれを聞いてね、なんとなくはっきはわからなかったけど感動したね

メンバー：

無職を目指します

北野会長：

そうそう。無職やから・・・無職の人でも会社は持っておるんやてね・・・みんな。仕事としては無職なんやて・・・どこかでネジの調整だけしてる。こうしたらうまくいくとかさ。金が入ってくるシステムだけとおる、自分は。だから固いところでは投信、それからETF、外国の債券を買付け。大体この三つをほとんどの人がやっておる。どこのおじさんと会っていても・・・おじさんでやっぱり一番の金持ちはね、あまり利回りのいいものはあまり好まないね

メンバー：

へ～

北野会長：

わかる？さすが金持ちやて・・・ロットが違うから。そんなに1%以下で借りておるんやから5%かそこそこで回ってればもう十分やと、そういう人になるとブラジルリアル下がって、これだいぶ下がっているから買っておこうかな・・・5億ほどかな。言うとなることが大体違う・・・大体ここ40円やる？36円で買ったらもう40円で売っとるよ、確実にね。そうやってすらっと、何気なくすらっと取っていくがやて、豆腐を取るみたいな感じね。柔らかい豆腐をすっと口の中に入れてる

メンバー：

へ～

北野会長：

金持ちの本当の実態というのはみんなそうや。びりびりと焦ってね、金もうけをやってねえ！いい情報を集める・・・情報を集めるわけ。わしらが行くとバカにして少年やとか・・・なめておるのか、こうなるんやけど、やはり金持ちにはかなわんのよ

真田 孔明：

70歳、80歳の人たちが。まだ現役バリバリでしょう

北野会長：

バリバリ！俺よりも余計、酒を飲んで。女遊びとる・・・どうなっとるのかね？このおじさんらちはと・・・

メンバー：

元気ですね

北野会長：

元気なの

メンバー：

もともと地主とかそんな感じなんですか？

北野会長：

もともと事業家で、引退して・・・早々と引退して。事業に一切かかわりあいない。株主でもなけりゃ経営者でもなけりゃ。もう役員から全部、降りていってしまう。株主からも降りて・・・ここが鋭い。僕は全部、一緒のことをまねしてやっておるけど、あそこまでにはまだなれんな・・・まだ、金を動かすときにびびるもん・・・本当に。びびらんということになるとやはりそ

れだけの金を持っておる・・5億や10億のことなんて・・みんなこんな軽いんだから、ここが・・

メンバー：

笑

北野会長：

5億とかさ・・だから村上ファンドと組んでいたおじさんたちもみんな10億単位ね。基本になる人が100億ぐらいね・・100億やぞ？でも、村上ファンドは必死に働いた・・潰されたのは彼。金をもらった人は誰も裁かれておらんね

メンバー：

お～

北野会長：

だからいかに、いかにどこか鷹の人とつながっとる人たちがそこにおったかいうことや！わかる？経済はみんなそうやっとるんやて・・「お前、あの若造を挙げていってもいいけどわしらにはちょっかいをかけるなよ」と・・そういう人みんなで弾を止めたらどうしようもないからね。みんなで民主党へ弾を流すよって言われるとどうしようもないよね。弾持ちは友達も多い。だからいつも弾持ちは必ず助かる・・貧乏人は必ず摘発される。これは経済の原理やから・・だから金持ちにならんと出たり入ったりしとる

メンバー：

あ～

北野会長：

でも、まだ日本の株全体は上がるよ。ゆうちょが持っている200兆ほどのお金を政府側が、なんせ株に使えと・・号令をかけたんやから。これね、反発もかなり強かったんやけど、嫌なら嫌でいいよと。この一言を言われるとどこもどうしようもねえ。あとは知らないよと。あの法案をちょっとネジを回されたら終わりやでね。経済というのはわかった？ネジをちょっとドライバーを曲げられると必ず引っかかる。だから、若いときに伸びようとしたらネジを回されないところにいることが一番やけど

メンバー：

はい

北野会長：

でも、ぎりぎりのところでないとね、おいしい柿はなっていないんやて・・世の中みんな同じ。だから、結構ぎりぎりのことをしないとお金も稼げない。だから、一山つかんだらまず逃げる
こと

メンバー：

笑

北野会長：

わかった？逃げること！まずね、とりあえず会社からは縁を切って身を引くと・・・あとはゆっくり増やしておきゃええんやから。スコップ2丁は持てんがやから・・・せいぜい1丁や！一山つかんだから逃げられ、これが私が言う最大の言葉

メンバー：

はい

北野会長：

おじさんらちから習ったのはそれやから・・・みんなね、結構、山を踏んでおる。やっぱ一山でかい金をばんと入れるときには結構・・・というところはあるがやて。だから、会社にも・・・家族は家族ね。だから自分の保全を知っとるのね。だから弁護士、経理士、設計士、士たるものは全部、回りに置いておくがやて、ガードを張るみたいなもん・・・ガードしとる。自分を守らせてね・・・常にね。あとはへたなパーティーに行っては金でこうやっておる。これをやっておかんとまた、犬が噛みついてくるやろ？だから、肉の端をやっておく。どこまでいってもね、越後屋はおるんやから・・・わかった。お前も悪だな。越後屋は必ずおるわけ

真田 孔明：

悪代官と越後屋。

北野会長：

だからつかむまではふらふらとやって・・・一山つかんだらまず自分の一番、身を安全なところに置くと・・・先生がやらんだって最後にぱっと決算表を見てさ、これでええやろうとかさ。これだけ除外してとっとけとかさ。なんぼでもできるわけ。だから危険な位置には立たんこと・・・金をつかむまではヤツタカミタカで前を行かん。そこまで・・・レースは、レースはそこまで。だから誰がね・・・あとは運やから・・・さっきいうた・・・運が8割、努力が1割。勘も1割

メンバー：

笑

北野会長：

でも、外へ出たみんな人間やから。もう中へは戻れねえ・・・中へは。でも、金を取る権利は持っているわけだから、やっぱりそこに集中して、あとは資産表、それから税務署、そこら辺に神経を入れておけば、出て今のところは生きておるわけやから・・・これからも生き続けることができる。だから俺は皆さんに言いたいのは絶対に無理はするなよと・・・

メンバー：

う〜ん

北野会長：

出て今度、倒産したらもう終わりやから・・・レッテル張られて人生、生きんならん。あとは、でも、だらだらしとったら遊んでおっても大丈夫。仕事をせんことが一番、倒産せんことやから。だから、金というものをつかむことさえできれば・・・金っていうのはふやすことは簡単。全部よく皆さんがそこをはっきりわかっとらんだだけ。みんな薄々は見えておる・・・そうやる？

メンバー：

はい

北野会長：

銀行かて、あれ日銀から金を借りて、一般人に金を貸して、さや抜きしておるわけやろ？さや抜きえんどうや！あんなもん全部、資本家はきついに決まっとる。どこかそれ以外のもので金もうけをやっているところある？システムが全部それなの。だからビル・・・例えば10個、金さえあればあんなものなんぼでも買えるんやから。上海、全部、買っておいた。これもできるやて、誰がそこへ到達するかや・・・一山つかんで、金持ちになったらまた見る角度が違ってくるからさ「少年よ、大志を抱けや」だから、60ぐらいまでで戦争は終わってしまう。皆さんの戦争も。70になったらふわふわや。さっき言ったやろ。60超えたら、だんだんだんだんかかる経費が少なくなるから、参考になったやろが？

メンバー：

経費削減の技

北野会長：

これこそまさしく人間の実態真実なんやから。今、この若さやからきょうも同伴、あしたも同伴、ホテルに行ったついでにチップも払ってやぞ？店は同伴して入ってやぞ？飲めもせんブランドイーを入れておる。酒は飲みませんとか言ってクラブに入ってさ・・・ドンペリ！XOもってこいとかだめやよ！酒を飲まずに、こういうことをする人が一番多いんやから

メンバー：

へ〜

北野会長：

シャンパンタワーとかやとんのは大体、酒が飲めないやつがやっておる。人生こういうはったりは大事やとか言ってさ・・・はったりゲームやから。みんな、債務もあまりないんやから・・・ゆっくりと金でも借りてさ・・・金っていうのはもうけるよりも借りたほうが楽なん。借りるのは横判とはんこ一つ、あとはいかにその金を回すか、返さんかどっちか。俺はもう昔からそう

いうふうに決めておるから・・・皿があってさ、一皿ずつ返してさ、そっちへ回ったときに二皿ずつ借り入れ取ればさ、一皿分だけふえていくんやから。えっさえっさの原理なんや。こういう具合に考えると金なんてもう簡単なん。そのうち俺のほうが借りておるこっちのほうが強くなるがやから・・・返してくれいうたら、1枚ずつの皿を一気に返して・・・これ一発やったらね、もう銀行は・・・地方の銀行はしびれるから

真田 孔明：

燕返し！返せって言ったら、返したら2倍になってかえってくる

メンバー：

笑

北野会長：

ほんまそうよ

真田 孔明：

金利2分の1で・・・2倍になって返ってくる

北野会長：

だから人間はなんでもやってみると。そういう情報というのはほかの銀行にも流れるから・・・

サツチェル：

あそこは返したぞと・・・

北野会長：

「何億の銭、一発らしいよ」と・・・そういうのが出るともう終わり・・・金利はほんっといても0.5に近くなってくる・・・

真田 孔明：

つばめ返し・・・

北野会長：

あとは弾寄せやから・・・だからいかに相手を納得と説得させるか・・・お前、女ばかり納得、説得しとってもあかんがよ！銀行は男やから・・・それは男の営業マンをいかに納得させるかや。500万ずつ3回に分けんと、1,000万ずつ3回で来月も入ると・・・これが最高なんやてね、本当は、だからどういう具合のきれいなのを組んでおるか・・・金を借りたら・・・借りたお金で投信を買ってその配当金をそこへ返済に回す。これでも元本は残るんやて。日はかかるだけで・・・あとは20万か40万の返済をちょっと上がったたり下がったりするからバランスをとるだけなんやて。これでは、あまり長い大きな汽車にならない。大きな汽車にならない。だからやっぱり、

本当は実営業があって、それをネタに引くと・・・ネタに引くんや。あとは先生の鉛筆の展望で大分、変わってくる

真田 孔明：

本当に先生の鉛筆が最優先ですよ。先生の鉛筆を最初に考えないとだめですね。うちの弟の会社の税理士も変えるよって言ったら、融資を引っ張って変えるのは問題ですよって、うんちゃらかんちゃらって言っていたんですよ。でも、変えてみたら何の問題もないですよ。笑 銀行も誰も何も言わないし・・・即、先生のところに变えて

メンバー：

ありがとうございます

真田 孔明：

あとは決算書、美容師なんで・・・僕たちの仕事・・・ばさっと切って先生に渡すと・・・

北野会長：

あとは先生もでたらめなことは書けないから、さっき言った実態経済をもとに先生に漬け込みをしてもらおうと・・・そうするときちんときれいなものができるんがやて。ヤクルト代まで書いてあるんやぞ！経費の中に！

真田 孔明：

一番下にヤクルトを入れてる

北野会長：

これはやっぱり生きているっていう感覚がにじみ出てる。苦しい、苦しいって黒字にしておくと最高やよ？でも、金はものすごい今、銀行は日銀が圧をかけておるもんで、銀行はどうしても出したいんやわ。これ出さんと、皆さんは知らんけども、銀行をまた統合するって言うて、日銀が「あんたのとこ貸し出しが2行・・・少ないから二人で結婚して一つになるか？」そういうことを言われておるんやて。ああいうネクタイ族は紳士やから・・・みんな言葉は柔らかいの。言うとはえげつない

メンバー：

やってますね

北野会長：

あれがまたものすごくピッチが早くなった可能性がある。結局、暴力団より怖いんやから、あれ・・・

メンバー：

僕はもともと地方銀行にいたのですごい身につまされるんですよ。2年ほど・・・。ポストがなくなりますね。合併して支店統合とかしたら。だったら行員はもうね・・・

北野会長：

でも、ビールはみんな来たぜ

真田 孔明：

乾杯を・・・乾杯！

北野会長：

お茶を飲んでおる人が二人おっから、かなり冷静やぞ！一生酔わんと聞くからね！

真田 孔明：

悪い人ほど飲まないですよ 笑 悪の人ほど！

北野会長：

昔から決まっとる。悪いやつほどよく眠るとかさ。やっぱり寝るっていうのは悪の象徴。悪いやつは寝ながら考えておるんやから

真田 孔明：

やんちゃランキング、ワン、ツー、いきなりきている 笑 でも、2013年の4月1日から量的・質的金融緩和が始まったじゃないですか？あのときにやはり融資部門長が知り合いにいますけど、その人が言っている金融庁の役割がそのもの全部、変わったと。その前まではいくら不良債権を持っているかを金融庁はチェックしに来たのに、あの量的・質的金融緩和の4月4日のあと以降はいくら貸し出ししているかを金融庁はチェックしに来て、もうまったく機能が変わっちゃったって・・・日本のこの。そういうのありますよね。今、そのプレッシャーと・・・だから銀行は戦っていると・・・金融庁と・・・

メンバー：

銀行を潰すようなことをしていましたもんね

メンバー：

僕が行っていた銀行・・・本当に潰すか潰さないかってところになって隣の県の銀行とくっつけさせられた。結局やはり統廃合する

北野会長：

だからいつの時代もそういう具合にどういの・・・トップダウンでものは決まってくるやろ？金を印刷した日銀。誰が貸すんや？銀行に圧をかければいいじゃない。それまではさ、不良債権を足し算してこれだけ日本の銀行は困っている。今回、反対やからね。お前、貸し出しせん

やつは全部、首やと・・・こういうような感じやね。1992年にこれをダブルでやった。あの政権のときにね。金は貸しはがして、だから結局、無茶をしたわけよ。銀行が統合して貸しはがしをどんどん。孔明のところの銀行は体力がないから隣・・・とかさ。富士銀行と第一勧銀とか。みずほができたりさ。だから結局あれが日本の一番のダメージになっとるわけでしょ？あれが。ところがあれまでは不動産屋と土建屋さんが二人で日本の国をあおりまくってさ。土地は上がる、ビルはどんどん値上がりするみたいなことをやって・・・やっと思ったわけよ。ところが金という門を閉めた。それでまだ足らんからみんな銀行が生き残りたいから、今度は貸しておるやつからどんどん貸しはがしてさ、新しい金、そこで一気に倒産が起きた・・・。金というのは血やから、献血ばかりしておってもあかんの。わかる？金はためておかなきゃあかん・・・俺はその持論

真田 孔明：

会長はもうそのときも借りていたと思うんですけど、そのとき引きはがされなかったんですか？

北野会長：

返さんのよ

メンバー：

笑

北野会長：

ここが普通の者とわしとの違いやねん

メンバー：

あ～

真田 孔明：

一応、返せって来たんですか？そのときに？

北野会長：

そうやよ。ここで返さんとも、ここが大事なところなんやちゃ。俺はあのときにもう絶対・・・こういうタイプやから・・・簡単にすらっと言うとるね。簡単やよ

真田 孔明：

どうやって乗り切ったんですか？

北野会長：

訪ねてくるやろ？あした、何時に来るって。敵が言うがやて、俺はいないもん

メンバー：

大爆笑

北野会長：

こんな簡単なことみんな思いつかんやろ？よく国税が入ったとき、入る前の手前でね。帳面を見せてくれと。私は一言だけ「嫌や」そのうちガサヤからね

真田 孔明：

それをやっていたら

北野会長：

山をつかんでね、金を残しておくにはそれしかないんやて。乗るかそるかやから。嫌、嫌、言うてね、冗談を言うて遊んでおったらヤバかったね。悪いことはだめやな、だから

メンバー：

笑

真田 孔明：

国に反目はだめだと！

北野会長：

本当!国に反目を向いても何も勝てんわ！

メンバー：

強制捜査！

北野会長：

強制ぐらいじゃねえ・・・ガッチャマンまでいった・・・本当や

真田 孔明：

ちなみにガッチャマンになっても銀行はそのあと別に貸してくれたりするのには、あまり影響はないんですね？

北野会長：

しゃべらにゃええ・・・あとはしゃべるかしゃべらないんかや

真田 孔明：

ああ、中で？

北野会長：

中で！しゃべりゃお客さんに迷惑かかるやろ？まずは・・・自分の身は出たら危ないやろがよ？
じゃあ、どうする？

真田 孔明：

忘れた

北野会長：

忘れた・・・思い出せない

メンバー

笑

メンバー：

記憶にございません

真田 孔明：

国会議員の！国会討論で学べばいい！

メンバー：

記憶にございませんって！

北野会長：

結局ね、しゃべると人に迷惑がかかる。だからしゃべりづらいの、そのあとのことをゆっくりと考えると絶対に自分に不利のがやて・・・不利やから人間やから得なほうに行くがやて・・・そこやね。だから山をつかんだらまず逃げる！これを言うとするわけ。走って逃げんと。知らぬ存ぜぬもなかなかね、永遠には通してくれんがやから。やっぱり反面でね、やられると俺の反面が出てくると終わり。たまたまメモをしなかった。俺自身が・・・それと相手もいろんなことがあってそういうところが出なかった。あとは20日、21、22がちゃんの、それ待ちやよ。だから結構、難しいんやて、そこ。だから、ギリギリのことをやるんなら腹をくくって逃げることも、右へ逃げるのか、左に逃げるのか、飛び上がるのか、下にどぼんするが、決めておかんならん・・・ある程度は。どっちにもね、対策を持っとれば何とか切り抜けはできる。どんな危ないときでも。結局、何の話をしにきた？ 笑 危ない人の話をしにきとるんがよ

メンバー：

笑

真田 孔明：

会わないだけで、でも乗り切れたんですか？それは・・・そのバブル崩壊のときの

北野会長：

うん、待ち合わせをして行かねえ。これに勝るものはどうしようもないよ。あとはよ、通信手段しかないんやから・・・車の中に携帯電話を置くやろ？自分は何をしておるかっていったらゴルフをする。船の中には携帯電話を置いてあるんやけど魚釣りをしておる。結構、鳴っとるなみたいなもんやて。これが一番。これをまともに返済しておった人、俺の友達、みんな・・・

真田 孔明：

全員、死んでいる

北野会長：

死んだ。1人だけ生き残っとっけど・・・

真田 孔明：

1人だけ？

北野会長：

1人だけ・・・あとはもうみんな死んでいる

真田 孔明：

やんちゃな人たちも？

北野会長：

やんちゃな人たちも結局、銀行とサシに話をするやろ？

真田 孔明：

これは何年ぐらいその厳しい期間っていうのは続いたんですか？この貸しはがしの期間・・・あのときって

北野会長：

15年ほどでない・・・続いたの・・・

真田 孔明：

15年も？すげえ！

メンバー：

爆笑

北野会長：

失われた20年っていうやろ？あれ本当にそうなんやて。本当に失っておる・・・あんたらまだ子供やったところからそういう時代に入ったわけ

メンバー：

15年間も耐えたってすごいですよね！

北野会長：

だから返さん癖もできておるわけよ

真田 孔明：

だってすごいプレッシャーで寝込みそうじゃない？15年も誰か追い立てているみたいなの？

メンバー：

ストレス！

真田 孔明：

ストレスね、ちょっと投資に失敗しただけでね、随分、弱ちゃうのに

北野会長：

だからそういうのが身につくとなんでも豆腐の角っこをとるように金もとれるようになる。だからそういうこと・・・

メンバー：

う～ん

北野会長：

今まではみんなね、お宅らの時代からまた起業する人がふえてさ。孔明さんでない、10年たったら1人とかさ。10年たったらこの中の誰か1人だけと酒を飲んどらんといかんことになるやろ？

メンバー：

寂しい

北野会長：

そういうことになるんやて・・・

真田 孔明：

僕たち、税理士の先生さえ、健在だったらね！

メンバー：

ちゃんとやります

北野会長：

あのね・・・でも先生、皆さんに教えてあげてほしいんやて。商売も設計図と一緒に図面を書いてする。これさえ守っておれば・・・図面のないのにみんな走るやろ？そこに建築家がおるから、図面のないのにだーっと穴を掘ったけど図面を見たら穴はずっとこっちやったと・・・こういうのでみんな失敗しておる。だから図面を書いて、図面のもとに計画しながら物をやっていけばそういうことってというのは起きないはずなんやけど・・・起きるよ

メンバー：

はい

北野会長：

俺なんか、三寒四温でさえ、俺、東京の人に聞いておったもん。どういことですか？言うて。でも、皆さん若いから、今、1億ほど持っておりゃ20年たてばうまいこと回せば。10年で10億、20年で100億、金さえうまいこと回せばよ？なるんやから・・・若いっちゃあ、すごいことなの。そのうち、ちょっとはったりと格好をつけたかったらマンションとかさ、人にわかるようなものを買って会社にしておけばいい。でもね、あれもね、ショッピングモールとか、マンションとかも悪くはないけど、管理費はかかるは神経はある程度、遣うわ、そんなに利回りもよくない。実質的な利回りって本当によくないもんよ。かなりの表面上はいい利回りでもそんなに実質、残らんのやて。一番ロスがないのはやっぱり投信みたいなようなやつはロスがなくていいわ

真田 孔明：

15年、耐え続けるのはちょっとつらそうですね。そのとき家族とは何か言っていなかったんですか？何か・・・返しなさいとかなんとかそういうのとか

北野会長：

言わないもん

真田 孔明：

誰にも？

北野会長：

特に何かね・・・つらいときに相談したらだめ

真田 孔明：

ああ、つらいときに相談したらだめ？

メンバー：

家族に？

北野会長：

家族も友達もみんな優等生じゃないけど、勉強してさ、会社勤めしておる人に借金の話なんかしてみい・・・お前、返すの当たり前っていう

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

そんなもん、親戚の者に言うたらホントお前、勘当やぞ？だから、どうしたら生き延びられるかっていうのをまず底辺に持たんといかんのやて・・・

メンバー：

つらいけどそのまま、もう飲み込むしかないですよ

北野会長：

そう、それしかないよ

メンバー：

仕事仲間も関係なく

北野会長：

うん、仕事仲間って、一緒に境遇って全然違う。一緒に業種でも・・・どうしても、だから相談するとあなた悪いことしなさいっていう友達っていないんやて・・・みんな、いいとこの指導をしてくれる。いいとこの指導をまともに受けてやるとほとんどは失敗する

メンバー：

返済の話しろとか・・・結局は返さなきゃいけない

北野会長：

返すと運転資金がどんどんなくなる。新しい受注が取れなくなる。例えば出ていった手形の決済がくる、新しい融資はこない、で必死に働く、あとは必死に働くようになったら大体、終わるやて。詰まってくるわけやから・・・どんどん詰まる。そんなもん、経理ができる先生に法人税・・・金もうかっとな。法人税を払う。基礎的な借金がある。例えば病院なんていうのは5億ぐらいで開業して立ち上がるやろ？5,000万ずつもうかっとなわけやね、毎年。返済して、先生、余裕資金ある？ないやてね・・・ここらがね、頭がないと大体、経営は失敗するがやて。だから借金から立ち上がった者っていうのは花が咲かないわけ

メンバー：

あ～

北野会長：

家族や周りの人は「あんた儲かっているから、儲かっているから・・・」とこうなるやろ？大体が・・・ほとんどがそうやな、私が見ておると。だから借金のない生活が一番いいんやて。でも、金をつくるためには借金というものがないと金っていうのはふえないんやて・・・スコップ一丁、持ってさ、金を集めるいうても集まらんやろ？労働からは。知能からは金っていうのは集まってくるけど、労働からは金っていうのは出てこない。夜も昼も死ぬほど働いて・・・っていうのはちょっと難しいやろ？

真田 孔明：

ちなみに15年の失われた20年と、15年が終わってどこからまた貸してくれる流れになったんですか？

北野会長：

金っていうのはね、あんたらち全部、銀行や。俺、返さない俺がおるがや、みんな、今、支店長になったとこや。みんな今、支店長になったん。俺から金をとられんなら支店長の首も危ないや。きょうの宿題で皆さん、これを縄抜けできるかやってみてください・・・みんな支店長になったんよ？今。俺のところへ「金、返済してくれ」俺返してくれん。皆さん、どうする？どうするか？この答えがわからんうちは金はつかめん

メンバー：

う～ん

北野会長：

本当は答えは簡単なんや、支店長や。みんな支店長やから1,000万から2,000万の決裁権は持つとるわけや。まず俺に金を貸す！金を。俺にまず金を貸すがやて。貸したお金で返済してもらうの。てめえの首は助かるんやから・・・簡単やろ？

メンバー：

やっていますね

北野会長：

そうやろ？だから、悪い経営者どこにも簡単に言うわけよ。「支店長さ、お前、そんなに回収がほしいんなら追加融資2,000万してくれよ」言うて・・・お前、300万ぐらいぱっと小切手切ってやるから・・・終わりや、そんなもん。1,700万、得した人がおったと・・・そんなこと言われるんか？

真田 孔明：

なんで、でもそんなことをしてくれるんですか？

メンバー：

首をつなぐため

北野会長：

そう！

真田 孔明：

返済の実績があればいいんですね。毎月の・・・

北野会長：

だから2,000万、新たに融資するわけよ・・・支店長が策を考えるんやから。俺が書いてどうするが？ここが世渡りのうまい者とへたな者の差なの。支店長が作文をするよ。ここら辺になるとかなり高等な生き方やから

真田 孔明：

銀行はそれで得をするんですか？

メンバー：

支店長が得をする

真田 孔明：

支店長が自分のために・・・

メンバー：

問題を先送りする

北野会長：

支店長は必ず2年かせいぜい長くて3年たてば変わる・・・

真田 孔明：

サラリーマンですからね

北野会長：

だから言うとり。だから、サラリーマンに物を相談すると、結末は今言うたがと同じ答えがいつも出ているよっちゃうの

真田 孔明：

そのときやっぱり接待とかするんですか？支店長と・・・

北野会長：

そんなことは・・・その場面では接待の場面じゃないね

真田 孔明：

あ、その場面は・・・ふ～ん

北野会長：

例えば2,000万のところを5,000万にね、上げるとかさ。5,000万のところを1億にするとかいうときにはやっぱり居酒屋を1軒かましておいたほうが・・・女の子が「支店長、いいじゃないのみたいなことを言うて」全然違ごうよ！人間、男やから。女のその一言で「ま、ええか」と・・・そこに酒が入ると結構やっぱりそういう雰囲気になっていくこともある

メンバー：

なるほど

北野会長：

でもね、戦争が終われば、そういう企業の戦争も同じやけど・・・残ったものは必ずいい目に遭うことになるとるが

真田 孔明：

生き残っていれば、死ななければ・・・

北野会長：

うん、死ななければ。こんな簡単なゲームの行き先はもう見えとるがやて。でもね、俺も自分の友達にみんなこういうことを一生懸命言うたけど、誰ひとり聞かんだわ。お前みたいな人間にだけなりたくないって最後に・・・教えた俺にね。本当にそんなんよ。俺はお前のようなそういう人間にだけはなりたくねえ

真田 孔明：

ひきょうな人間にみたいな・・・何かそういう言い方的には・・・

北野会長：

そうそう、もう自分は正しいと思っている。周りから支店長、銀行も1人や2人、3人とかで攻めよってくっからさ

真田 孔明：

怖いですね

北野会長：

あれにやっぱり負ける。会えば必ず情が移るちゃうが

真田 孔明：

私、首がかかっているんですとか必死にくるわけですね・・・向うも・・・

北野会長：

そう、結構、全部、泣き落としでやられるわけよ。その人が自殺したらその行員が香典を取りにくるがやで？銀行ちゃ・・・それが現実や・・・行員もただ支店長から言われて取りにきとるだけ・・・わかる？それぐらい金融っていうのはドライなわけ。どうやって対処するかや・・・一番大事なのはだから上手に説得せにゃあかんて

真田 孔明：

今みたいに無理やり貸せ、貸せ、貸せってなっているときにね、またそういうのが来そうでもんね。急に量的・質的金融緩和が終わって

メンバー：

田舎の大きいホテルなんてほとんど返せていないですね、温泉宿とか。それでなんで回っとなるのかなと思ったら。会長が言われた方法でずっと回っているんですよね。もう1回貸して・・・

真田 孔明：

ずっとこれをやっている？

メンバー：

会計上の評価もぎりぎりまだ貸せる先っていう状態にして。例えば鬼怒川とかあったじゃない。地方の温泉宿とか1円も返していないですからね。30億とか100億ぐらいの大きいホテルがあるじゃないですか・・・借りて・・・

北野会長：

返せるわけがねえ。でもさ、あれ飛ばしたほうが銀行はもっと損をするわけやから・・・そうやる？だから、ここが知恵の、知恵をどうやって使おうかやて・・・。皆さんは、銀行が企業相手にきちんと返済をもらっておると思っておるやん。今みたいな例が一つやと思う。俺は銀行の3割以上はそんなところがあると思うよ。だから、サッチェルから孔明まではね、返済しとらん。あとこっち、孔明からこっちの部分は返済しとる・・・こんな感じやな。あとはだから自転車、自転車じゃ。支店長「2,000万、また小切手切っておいてって。そうするとまた12カ月はきちんと返済できますから」これで終わり

真田 孔明：

言っていることはむちゃくちゃだけどそれが成り立っちゃうんですね 笑 支店長もサラリーマンだから

北野会長：

でもそれ反対に回ったらどうなる？孔明が支店長や。お得意様方が飛んだと・・・あんたはどうする？あんたの首は！

真田 孔明：

そうですね・・・1回でもそんな傷ついちゃったら・・・

北野会長：

2件も3件も孔明のお得意様で飛んだら、お前自身の首はいらんよ！もう・・・そうやる？お前が先に首だとながる。だから純情な支店長は大体、痛い目に遭う

真田 孔明：

やっぱりそこも悪じゃないといけないんですね。知恵が回っていないと・・・

北野会長：

知恵の回るとる支店長はそういう話を言うとな、
「そうですね、そうしましょ」と、さらっと
こうなるわけよ

メンバー：

笑

真田 孔明：

向うもわかっているんですね。相手がどう出るかで・・・手当たり次第、向うも当たっているだけでもんね？返せるところはどこかって・・・

北野会長：

だからいつも皆さん、国金でも、俺43年の実績やで。国金がいつもそう言うね。国金を回しておるんや。金を回さんと、金っていうのはとまったら終わり。だから会社を、この頭数、会社を持っとるやて。会社をいっぱい持っとりゃさ、A社、B社、C社、こうやって回っとるんやでて・・・金。国金も俺の信用で回すんやて。国金もいつでも頼みしたらOK。会社で借りておいて。おう、いいよ、ま、入れておいて。さらっと。こんな感じ。わかる。癒着の構造みたいなもんや。そうすると今度はこんだけ押されると、今度、一般銀行が金融庁から貸し出しを押されておるわけ。だから、「会長、お願いしますよ」言うて。1回で3億、言わんでも、1億ずつでもええから弾を入れてくれと。僕は弾を仕入れたら全部、楽天に送ったり、東洋証券送ったりしとるだけ・・・いないもん・・・実際的に。借りてくれいうからボランティアで借りておる

メンバー：

う～ん

北野会長：

だから、俺は必ずそのとき条件を言うのはね、俺はいらん金を借りるんやから、最低、6カ月や1年ね、飛ばしておいてくれと、返済なしにしておけと。この一言がすらっと言えるようになるとまた全然、対局感が違うわけよ。僕が配当金をもらっても誰もほしい人いないもん。これが1年も続くと考え方が全然、違ってくるんやよ。1年たったら今度、こう思うんやて。いや、このままこのお金が黙ってポケットの中にさ、配当金が入ってきとるわけやろ？これ元本、返せいうたらさ、ここまでださんと・・・これ出すのいややね。ここに1回入ると。そこで俺、考えたんやて。いや、待てよと。支店長さ、彼、今のところ半年、半年の手形で待っとると。今度、1年の手形に書き換えようと。あんたも1年分の・・・今度、そのかわり俺は金利は先払いやと。すばらしいやろ？借りた銭の1年分を先払いで決めた日に払おうと

真田 孔明：

先払いは現金一括で払うっていう

北野会長：

そうそう、ジェントルマンやろ？なかなかこの不景気の時代にこんなあほみたいなことを言う人もおらんよ。最近ね、この法則がね、当たるようになったら銀行もいいね。貸付のごげつきはないで。利息をもらって待ってとるんやから。でも、現金は払ってはおらんよ。ふわふわっとしとるやて。また、これにさえ、波乗りすればあとは全部、こうしておけばええなと。ふえる借金、減る信用。どうとるか・・・勝負を相手がかけにきたら一気に勝負をしてやらんね。支店長が変わってさ、今までこうやったけどみたいなことを言うやろ？支店長、全部、返してほしいのって言ったら、いや、そこまで言うんだら返してくださいって言うから、「おう、2億ほど小切手やっておけ」ぱっといくがやて俺は。そんなもん、支店長、持って行ったら本店から叱られるだけやぞ、そんなもん。目に見えとる現実やないかいや。利息を先払いしてくれるばかなお客さんからやぞ、全部、返済を受けたらアウツやぞ、そんなもん。ここがやっぱり読みきとるものと読みきれていないものの差やて。俺から2億も小切手を持っていった支店長がさ、何日かたったらまた来るがやて・・・偉いのと。申し訳なかった・・・支店長でも浅い支店長やもんで。今度の失敗はね、あんた取締役だから仕方ないわねみたいなことをこう言うのとるわけよ。いや、会長、金利・・・ 笑 融資。3億、4億でもいいしみみたいなことを言うて

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

さらっと

北野会長：

さらっと！ここをいかに上手に切り抜けられるかやて

真田 孔明：

このさらっとってというのがね。重要ですね！

北野会長：

ここ本当にね、言うだけやけど度胸がいるがやて。これに成功するようになるとね、またね、たまたま新しい世界が見えてくるがやて。だから、最近、都銀さんでもそう言うとするがやて。いいよ。日銀から責められてひどいんやから、1カ月でいくら、支店長、5億でええがやろ？金利、先払いでいいっちゃって言うがやて。1カ月、5億ってというのはね、都銀でも入れるやて。5億、入れてくるがやて。こっちは先に利息だけ先に先払いしておく。ところがね、ちょうど1カ月たつ時分になったら支店長が弱る・・今度。いや、待てよと。この5億、返してもらったらどこかにやらんとならんやろ？これ。「いや、会長、悪いけどもう1カ月だけ」「俺、お前、利息、先払いしとるんやて！支店長、どこか飲み屋で1回、話そうか」言うたお金は支店長が払うがやよ

メンバー：

接待される

北野会長：

それは銀行が払うべきの話やろうがよ。最近はだからね、結構そういう話し方によってお金っていうのは変動していくっていうのがよくわかった？

真田 孔明：

話術で5億を稼ぐ方法。セールスレター書くためのコピーライティングを学ぶよりこっちを学んだほうがいいですね。笑 あれ難しいですから・・結構

北野会長：

でもね、最近、何かそういう話がものすごい圧力が強いせいか、銀行の話はものすごい多い。俺もだからやけに各会社を黒字にしとるんやて・・給料なんてね、先生ね、ここなんやちゃ。給料をとるよりも融資を受けたほうが銭がふえるやて

メンバー：

確かに

北野会長：

俺の結論から言えば、給料をもらうよりも会社の利益を上げておいて、銀行融資を軽くしておくがやて。えっさえっさと金をもろうとったほうが利回りがいいんやて。みんな、そこそこ商売をしとると思うけど、年間に30%、一番いいトヨタの売上対比で何パーセント？2%あるかないかでしょ？3%の利益計上できる会社なんてないんやから。そういう具合にひっくり返して考えていけば答えはもう見えておる

真田 孔明：

都銀の方が地方まで来られるんですか？最近は？

北野会長：

最近はまだ都銀の人は結構どこでも回ってる。都銀はね、海外に出て商売をしとる。これがぼったくりで甘い。おそらく三井住友UFJあたりはもうそこが一番主力になってくるよ。日本なんていくら貸したってもうかるわけがないから。ただ、日本の場合は相手を知っとるいう。海外に出ると相手がわからないやろ？だます相手もおっからね、いっぱい。だから、そこら辺に銀行が引っかかるんだからもう外国は絶対にもうかる、ぼろもうけや。日本の国がやっとなこと、一緒にやっとなやから。皆さんに言うたやろ？この日本は最大の金貸し、日本の国は。今度の投信でも日本の投信で外国から買えない投信はものすごいふえてとる。日本はどんどん銀行がお金を押して、皆さんのような真面目な人にお金を貸し出すと・・・真面目な人が投資信託を買くと・・・頭20%は国が全部ピンはねするわけよ。それでイギリスを上回る、ここに怖い、今、一文が出た。イギリスを上回る国家にしたい・・・金融国家ね。だから、そんな危ないフィリピン人やとか、インドネシア人やとか、そういう人は入れないと。人口が減ったら、金持ちだけ入れると。金持ち父さんの原理やて。ものすごい怖いよ発想が。最後になったら政権はどう変わるか知らないけど、戦争でもしかねんような国になってきとるね

真田 孔明：

最近ちょっとそういうニュースが多いですよね？徴兵制って始まるんですかね？

北野会長：

それはないやろ

真田 孔明：

あれは冗談かな・・・

北野会長：

日本はまだ東京に行って政治家の先生らちと冗談を言うとなると、人間が戦争するような国じゃないよちゅうわ。「え、誰が戦争するがですか」って言うたら、そうだね、中学校までのファミコンができる子供と

真田 孔明：

天才ゲーマーたち。まさにガンダムの世界になってきた・・・ニュータイプたちが！

北野会長：

それとホンダとトヨタで歩くロボットおるやろ？人間よりきちんと歩くと・・・

真田 孔明：

笑 文句を言わずに！

北野会長：

あの目にね、何か標準レーダーか何かをつけて、腕からピストルさえ・・・カシャン、ドン、パ
シャン、ドン・・・絶対に犠牲者はいらんのよ

真田 孔明：

カッコいい

北野会長：

そんなような話をしとるね、最近

真田 孔明：

いよいよガンダムの世界になってきた

北野会長：

だから、産業が変わるとホンダが一番になるんでないかいう話

メンバー：

へえ～

真田 孔明：

ホンダの株、買っておいたほうがいいかな？

真田 孔明：

上がってとるやる？だから、経済はハワイのときに言った楽天の三木谷さんが諮問委員会に
入って、あのとき株が六百何十円か、800円はしとらんだと思う。今、2,200円やで？どっか
おかしい。どっかおかしいやる？世の中ってみんな・・・いつも・・・いつも。だから強いやつ
がね、いい思いをしている世の中。あれはだからソフトバンクの孫さんなんかは、自分でやっ
て成功しとるから。なぜか今度ヤフーの株を買いに出とらんのだからね？切るんかな。ヤフーっ
ていうのはあまりもうかってねえやて・・・だから、そっちのほうを離していくんでない

真田 孔明：

孫さん自体が・・・

北野会長：

やっぱり今は、アリババと手をつないでさ。あとさっき言ったゲームの世界と手をつないで
いったほうが甘いよと・・・人間はだから甘いほうへ流れるということや、僕は健全な投資として
あれを選んでおる。俺、あのとき、アリババが中国で出たときに買って、そのときによ、もう
こういうもんやみたいなことを話が出とるから、ま、だまされたと思って・・・と思って買った

真田 孔明：

東京のほうで

北野会長：

そう

真田 孔明：

小耳にはさんだやつを・・

北野会長：

そうそう、ちょっと・・そういうときなぜかね、能力が高いから番号を覚えるのものすごく早い。そこにしか本当はね、神経が残っとらんのやて、あとはあっちゃほいやから 笑

真田 孔明：

どんなに飲んでいてもそこは・・笑

北野会長：

それだけはね、忘れんのやて。Nが500万で京を超えるコンピューターを今から官庁、県庁、官庁に全部、売り込みをかけると。政府としては後押ししたいですねみたいな話が出とったわけよ。頭になぜかNと官庁と県庁が・・うち帰ったら買おうと・・ころっと変わる。この変わりネタの早さ・・ここが大事なの

真田 孔明：

もうそれは今からだと遅いんですよね？

北野会長：

今、納入の伝票を上げとるところなの。これからでもまだなと思う。一つ、今、また上がったいうても俺が買った二百何十円から買い上がったとるんやから、410円弱ほどやね。本来に来期、注文が本格的に出てくるともう何日か前の新聞で1.6倍ぐらい。今注文をとっただけで1.6倍、収益が上がりますよと言うとったから・・そういう細かい話がすごい好きなの

メンバー：

ホンダさんとかは結構まだ先ですかね？

北野会長：

ホンダとかはこの間も言ったけど、為替、トヨタが1円、円安になると300億円プラスになる。1円、円安になると。だから、そういうことを知っていればものすごい違う。例えば今、輸出でどこが一番、伸びたかということ、どこやと思う？

メンバー：

輸出ですか？

北野会長：

輸出。聞いても絶対にわからんような本当はMで。M。どうしてMがそんなに伸びしろから見たらよ。Mがものすごい伸びている。Mの車に乗ったことがないもんで、あんないいのか悪いのかわからないけど、ものすごい

メンバー：

海外シェア、高いですね。M

メンバー：

ヨーロッパとか強いですね。うちの地元です

北野会長：

そういう小さい情報が株なんやて・・・株。例えば、皆さんに失礼やけど、この前やったかな。Sの話をしとった。Sへ入社した人はみんな一流大学で、一流高校、一流大学を経てSに入ってるんやて。そのSの社員が1,000人、首になったんね。首切りね。そやから、おそらく1人当たりのお金、1,000人掛ける1,000万やったらいくらになるか知らないけど。Sはそれだけ経費を削減したわけでしょ？ということは必ずその分だけはもうかるわけ。経理上から言えば・・・こういうことなんやて、俺が言うのは。そういう小さい1円の話やとか、人を切った企業は必ずもうかるとかっていうのはそこ。ナショナルか何かでもついこの間までどんどんリストラをやってさ・・・

メンバー：

パナソニック

北野会長：

パナね

真田 孔明：

5万人とか8万人とかの規模ですね？リストラ。ジョホールバルのパナの人全員、帰っちゃいました・・・全員。パナの人って自分で言うんですよ。私、パナっていうのは。みんな・・・みんな知っているんですよ。誰がパナかって

北野会長：

自信を持っとるもん。自分がパナやって

真田 孔明：

広州でも香港でもジョホールバルでもみんなパナの人だけは自分がパナっていうんで。みんなわかっちゃうんですよ。あの人がなくなっちゃったんだって

北野会長：

本社に帰ったのかと思えば実家に帰っとったりしてさ

真田 孔明：

海外にいた人が帰る場所がなくて自宅待機になったみたいです。そこからもう・・・恐ろしいですよ。5万人とか8万人とか、もう都市じゃないんですからね、社員。意味わからないですよ・・・人数が

北野会長：

ところがね、Sとかパナソニックにおった人で起業する人っていうのはほとんど1%いるかいな
いか・・・そんな不良どもと僕たちとは別やと思っとるんやから・・・みんな

真田 孔明：

JBで前に駐在員の90%のところに僕、住んでいた時、肩身が狭いんですよ。僕だけ昼間、寝間着のようなやつを着てぱちぱちやっていたみたいな

北野会長：

あれは不良だ言うて・・・笑

真田 孔明：

不審な目で見られる・・・

北野会長：

うちのマンションに変なやつが1人だけおる

メンバー：

子供にあんな人になっちゃいけませんよ 笑

真田 孔明：

ニートみたいに 笑

メンバー：

でも実は、そうならないといけない

北野会長：

でも一般の人から見ると、本当に半端者じゃ。だからここに集まっとる人やから俺はこの間、半端者と言ったのはかみさんが見つけてさ・・・

真田 孔明：

すみません。あとのやつを書かないで、そこのキャッチのところだけちょっと・・・

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

僕のブログを見て 笑

北野会長：

俺もそういつて言われて、何か言ったような言わんような・・・はっきりせんがやて

真田 孔明：

そのあとの続きがあるんですよ。書かないで・・・

北野会長：

だから、あとはきつと言わなかったんでないかなと思うんやて。人間は怖いところがあっからの・・・お互いに気をつけて・・・

真田 孔明：

Nか・・・大量に買いを入れちゃうんだけどね

北野会長：

Nは携帯から手を引いたやろ？今度。だから、もう恐らくコンピューター、京まで計算できるやつを500万やからね。昔なんて10畳一間ぐらいに機械を置かんとその計算機がなかったんやと・・・何か普通の・・・

真田 孔明：

大きになっちゃった

北野会長：

パソコンで、それが入ると・・・なんとか番号

真田 孔明：

国民、マイナンバー

北野会長：

だからあれとこっちが組んでいくんがないかなと思うやて

メンバー：

あ〜なるほど、ナンバー制か

北野会長：

ナンバー制を使うと

メンバー：

データ処理ができるようになったからナンバー制を取り入れると

北野会長：

あれは、出来レースでないかなと思うね

真田 孔明：

500万か、1台・・・京・・・

北野会長：

500万・・・ちょっとおかしいやろ？

真田 孔明：

ちょっと高すぎですよ？何かね？

メンバー：

毎年のメンテナンス費用が2,500万とか・・・

真田 孔明：

レバレッジをかけて買っておこうかな・・・信用買いで 笑

北野会長：

だから、パタッと動くここ1週間ぐらいで1割ぐらいぼんと跳ねて・・・

真田 孔明：

1割。まだでも逆に言うとまだ1割

北野会長：

そう、まだ1割

真田 孔明：

Nって言ったらアメフトがあるのでよく先輩とかが行っていたのであれですけど・・・何かちょっとB級、C級みたいなあれがありましたからね。それが逆に言うと伸びしろがありますよね。
N・・・

メンバー：

出遅れているやつを・・・

真田 孔明：

N株に絞って売り買いしていようかな？

北野会長：

300円ほどの株って毎日、扱って遊んでおるんやて。すごく勘が養われる。でかい金額のやつは結構1万株単位で遊ぶとけがもでかいやろ？食事代だけあればそんな感じでそういうのは遊んでおるわけ。なるべく毎日、株は買ったり売ったりするようにしとる

真田 孔明：

N株を買って持っておくとかそれは危険なんですか。持っておくだけとか

北野会長：

あんな安い株はいくら持っとっても別に・・・

真田 孔明：

売り買い、ちょっとやっぱり苦手なんですよね。僕。神経がそっちに行っちゃう・・・

北野会長：

だから、仕事をしとる人には向かんのや。仕事をしとらん人・・・

メンバー：

はい

北野会長：

この前のSでも皆さんには言って、恐らくわからないと思うんやて。だからSで1,000人、切られたと。みんな高学歴、高収入の人が1,000人。俺はあの記事をぱっと読んで、あ、Sは絶対に上がるなと思った。今までね、リストラした会社で株価が上がらなかった会社ってほとんどない

真田 孔明：

じゃあ、リストラニュースって超重要ですね。

北野会長：

あれは発明よりも絶対に固いんや。わかる？人件費を削るやつやから

真田 孔明：

何かを売るよりも簡単なんですね？

北野会長：

そうそう！俺はだからいつもそういう逆算をして物を見とるわけ、簡単やろ？結果、先にありやから、あんまり失敗しない。でも、楽天の株が2,200円でさ、野村証券や大和が1,000円以下じゃないの？あれもおかしいよね。いかにあれはこっちのほうから嫌われるとああなんがやで。好かれた者と嫌われた者やで。すごいギャップでないかなとわしは思うけどね。野村証券で投信を買うとみんな3%、頭、天引きや。手数料でね。3.1何かそこらやる？じゃあ、楽天はなんでそんなことをしていないのってこう疑問に思わない？誰か買う人がさ、楽天に向かってさ、お前のところあれをただにしてくれよって言うた人がおるから、ああいうことになったんでない？そうやろ？うちの電車は料金いりませんなんて普通はあまりないわな。そういうところに皆さんは全然、疑問を感じていない？俺から見ると。だから、ハワイから始めたんやっただけ？順繰りに言っとるんやけど、なんとなく電波が繋がってないような気もするね

メンバー：

あ～

北野会長：

別にさ、皆さんのお金やから関係ないんやけど・・・ほんと、こうやって見ていると、言っていることの電波が全部は伝わっていないんやなっていう気がする。だから、みんな、すらすらっとうね。たまに孔明さんが4年振りに思い出したみたいなことを言われて・・・たまに感動するけどね

真田 孔明：

ようやくわかったと・・・

北野会長：

だから、小さい大きいじゃないけども、そういうところに目が行くようになれば全然違ってくる。わしらはね、商売の中でも一番簡単なことをしとるわけやろ？投資信託を買って・・・買うだけやから。もう一つの仕事は銀行からお金を借りて、そこへ振り込むだけ。漢字が書けんならんわな。それぐらいやぞ！世の中にこんなばかな、単純な作業をしとる者はおらんよ？

真田 孔明：

しかも決算書も自分でつくらずに先生につくってもらおうと・・・あとは経費をなるべく使わないように余命時間を長くするためにじっとしておくと。あとは納税！

北野会長：

最近だからよくね、その計算をしとる。納税したほうが得なのか、借入をしたほうが得なのか。なぜかデータベースで表をつくらせると借入のほうが余計、金が回っとる。だから、この間、経理士さんにも計算してもらって、先生、ちょっとこれ法人税と何か個人のあれおかしいんじゃないの？400万ぐらいまでは当然ね、個人の、法人のほうが有利になる。今まで800万で18%やったね。法人税が。もう10%、市民税にとられる28%やと。それなら400万に落として会社を倍か、3倍ぐらいにつくっておけばいいんじゃないかなと・・・トンネル会社を・・・広く薄くさ

真田 孔明：

頭の低い会社を

北野会長：

これは前に言ったやろ？これは・・・ばかなやつはこうやって立てるからすぐに倒れるんで。平べったくすれば永遠に倒れない、発想だけな。商売っていうのは発想だけなんやて、努力じゃないんやて、必死に努力してみたって、何も報われんよ。俺の場合は動かない、働かない、今日言ったのは、顔を出さないや

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

これはすごいですね。15年、乗り切ったっていうこの魔の15年を・・・

メンバー：

1社自体の売上の目安とかってあるんですか？

真田 孔明：

頭の低いってどのぐらいが売上、毎月の売上のイメージですかね？

北野会長：

いや～うちはね、一番低い会社が家賃収入で6,000万ほどかな？年間・・・

真田 孔明：

一番頭の低い会社が

北野会長：

でも、俺じゃないけれども、嫁はんから全部、建物の代金を借りとっから金利を払っとる。給料は払わない、俺と一緒に、無職やから。金利は12から今、上げた15%ぐらい年間、払っとる。税務署がさ、こんなばかな金利、おかしいんでないかって・・・社長は俺やから・・・給料

をもらっていない社長やからね。関係ねえやて。給料とか利息は俺が決める、税務署がとやかく言うことじゃない。わかった？ものすごい難しい一言やけど、これも世の中で通用するが。100万の給料が高いか、1,000万の給料が高いか、1億の給料が高いか、そんなもん誰も決める方程式はねえやろ？それだけ覚えておけば会社を赤字にすること簡単にわかったやろ？給料をがばっと取れ。給料をがばっと取ってやばなったらそのときに紙巻いてしまう・・・バ〜んと。家族やとか。株主にはなくなる。そのときにできたら代表権もなくしておけば。山をつかんだらそうせなあかんいうこと。山をつかんでからせにや。紙しかつかんでとらんでやってもあかんよ。山をつかんだらこういう方法がありますよいう話をしてる

真田 孔明：

貸付に対する金利って、税金どのぐらいなんですか日本で？

メンバー：

利益、利益として計上ですね。法人であれば・・・

真田 孔明：

1億円貸して・・・例えば年間2,200万、返ってくる。12%で・・・

北野会長：

うちは今それをやっとする。それでもまだ利益が出すぎるもので、嫁はんにもうちちょっと利息を払えと。15%まで払っておけと。そういうことをやっとするわけ。だから、いくらでも内部でコントロールできるようになっている。ネジは自分でプラスとマイナスをどちらでも回せるようなネジさえ持っとればなんぼでも、ういたり引っ込んだり是可以

メンバー：

利息の上げたり下げたりってしていたら利益調整しているみたいな感じにならないんですか？

北野会長：

と言われるから、そういうことにお宅らが口を挟む話じゃないよと

メンバー：

あ〜

北野会長：

パンって言うがやて。俺なんか決算書を見せてくれって玄関に来とっても嫌、言うんがやから。なかなかこの一言を言える人がいない。「いやわい」この一言でね、もうどうしようもないんやから、この一言ほど強いことはない。それは監査を受けたときも一緒よ。都合の悪いものは出さない。わかった？三十六計逃げるも如かず。もう逃げたほうが早いから。書類を出して突っ込まれるなら、出さなきゃいい。ありませんと。絶対に覚えておかれ。あんたみたいにぎりぎりのところにおるやつが大事なこと・・・

真田 孔明：

言わない、会わないって、なかなか選択肢に出ないですよね？ぱっとふわっとやらなきゃいけない

北野会長：

そういうときは本当にね、だから俺、ゴルフと魚釣りしかないって皆さんにはそこ。この二つは、なかなか道具を持たないとどうしようもないじゃ。ゴルフもあれ山を回って歩くやる？なかなか捕まえにくい

メンバー：

笑

北野会長：

これ海やともっと捕まりにくい。ぱっと沖に出てしまったらまあね、のんびり走ろうやて。これも楽やぞ？あとは青い海、青い空で行くと。腹をくるとこういうことが簡単にできる。これ、どきどきしとったら心臓が悪くて今ごろ死んどらんね。まず、都合が悪いときは後ろを引くこと・・・こんな簡単にこういうことを言えるんやから。これができるのとできんのは天と地、違うの。官庁とかさ、国税とか簡単にできないと長生きできない。さらっと。あまり逃げてガサをかけられとっても弱っけど

真田 孔明：

頭の低い会社をつくっておく分にはあまりそういうのは狙われないんですよね

北野会長：

狙ってもしゃあない。ここに分岐して業種が違っとるし、いろんなことをして遊んどる

メンバー：

頭の低い会社を自分でつくって、そのあと変えてまたつくったりしていくときって、銀行には本当は自分が裏にいるみたいな・・・

真田 孔明：

実質経営者

メンバー：

というのがわかったほうがいいのか、それとも

北野会長：

絶対、わかったほうがいい

メンバー：

わかったほうがいいですか

北野会長：

もともとは全部、俺が代表者やった

メンバー：

別に新しい銀行でまたこっちは別でってでなく、同じところでずっとやっていったほうがいい？

北野会長：

そう、まず新しい会社をつくって立ち上げるときに国金から弾を引くわけや。それで自分の今までの取引先にも説明して、こういう商売をしますから勇気があったら、勇気、実行、行動力。弾を出してくださいよと、案内するわけよ。あとは最初はちょろちょろ。それを徐々にふやしていくやないか。わかった？電車のようにふやす。借金をふやすってあまりいい単語じゃないんやけど、でもこれが一番、投信するのには向いとるの。あとは紙の書き換え、6カ月たったらまた6カ月ってして、今度は次に1年にしましょうみたいなことを手打ちすれば1年ずつ。いいよ。金額を1年に持っていくときに金利を今度、抑えてくれって頼むんや。支店長、1よりもコンマ8ぐらいにして1年にしましょうよ言うて。これぐらいに誘いをかけていくわけよ。ギブ・アンド・テークでいいわけやない。ここら辺ができるようになるとレベル3ぐらいやね

メンバー：

これでレベル3

メンバー：

レベルのマックスは？

北野会長：

マックスは5ほどやと思うとるんやけど・・・5億ぐらいの銭を簡単に引けるようになったら楽よ

真田 孔明：

基本、5億ぐらいの銭を引くときって、毎月の売上高ってどのぐらいの企業なんですか？

北野会長：

5億の銭を引くときはやはり15億は最低、必要やね

真田 孔明：

年間？

北野会長：

年間売上

真田 孔明：

年間15億って結構、高くないですか。その背としては

北野会長：

背としては・・・そうやね。今からつくっていくとすれば・・・でも、皆さんがどんな産業をやって、どう当たるかっていうのはわからない、今のところは。だから、今は投信にいて、投信で金をつかむと新たな物の考え方が出てくるから。だから、何をつかむかっていうのはわからんのやて。今のところはね、失礼やけどみんなヘビのしっぽでもつかむ方やから、あんたたちは、わからないもん。そうやる？「つかんだ〜」って、そういう現状なんやて。だから、今ほどやはり軽く動けるときがないわけやからチャンスもあるわけよ。トカゲのしっぽ、ヘビのしっぽ、そんなのわからないから

真田 孔明：

15億の売上の会社、年間。結構もう何かすごい巨大な企業で目をつけられるんじゃないですか？今の時代って・・・いろんなところから・・・

北野会長：

15億でも。例えば今度こちらの会社でビル、こちらの会社にビルの賃貸を借りておく。賃貸を払っておくがやて・・・借りとるから。こういうことをしておけば金っていうのはなんぼでも下へ滑っていくがやて

真田 孔明：

この三角形の・・・シャンパンタワーのように

北野会長：

上がきつければ下の会社に流していくがやて。そうすると逆三角形が俺の利益やっていうこれがそう。これが僕のものうけの定説なんやて。今、例えば1個しか持たない人がこれを考えてもはっきりわからないんやけど、紙上ではわかるやろ？逆三角形の意味が・・・この逆三角形が3社によって成り立つ逆三角形であればそれは永遠のものなの。三角形を三つ作って1個、丸もうけの会社ができるわけや。これをこの三つからさらにその下にまた一緒なものをつくればこういうことなんやて。私が言っとるのは・・・だから、そうなればもう役員とか、社長とかそんなものは関係ない、どこからでも金をとれる。システム上は。一番簡単なのは本社はここやと。ここに全部の会社の本社を持ってきておく。1件30万、家賃。あんた、みんな30万、払わな。僕、家主やから

真田 孔明：

それで管理会社で受け取ると

北野会長：

そういうことにしとるんやて。だから、簡単なんやて・・策は。ところが俺が全部の会社と手を切っているから、今度、国税も税務署関係は絶対に俺のところには来れんのやて

真田 孔明：

役員を抜いちゃっているから

北野会長：

社長でもない。家賃だけもらっとるんだから・・2、4、6もうちょこ多いね。そういうことにしとるやて

真田 孔明：

もっと多いですね。30万掛ける・・

北野会長：

だから簡単、ジョホールバルも会社と契約するやて。家賃を・・ハワイも一緒よ

真田 孔明：

何社と契約ですか。あそこは・・ちなみに・・

北野会長：

なんとなく適当にこう。抽選ではんこを押しとるみたいなもんやから。そういうことをできると今度、利益の操作が簡単にできるんやて。ここ洋服の売上があまりよくないからここにちょっと、そっちの会社のほうへ家賃入るようにしておけとかさ。簡単に・・上げたり下げたりなんぼでもできる

メンバー：

利益が下がった場合・・

北野会長：

上がったときはとればいいし、下がったときは上げればいいと。だから、スクラムを組んで浮き袋を、浮き袋を着てやぞ。海泳いどると一緒やろ？これはものすごい簡単な原理。だから、物の考え方、全体が縦に置かない、横に置かない。平面を一番大事にする。こういう全ての考え方がこういうところにつながる。見方によっては悪。見方によっては善。最近、税務署の人に「うちほどの全会社、黒字やから。全会社、黒字の企業あんの」って

真田 孔明：

全会社、納税していることになりすもんね。

北野会長：

あるの言うて「それはないですね」でしょ言うて。僕が言うのはその「でしょ」でええがやて。そこで押し込んでんがやから。もし、今度、戦争するんならね、弁護士、10人ほどつけてやぞ、今度、戦争しましょ言うて。相手も10人、言われるとやっぱり嫌なんや

真田 孔明：

10社分みたいなね 笑

北野会長：

そうそう！10社でちびちびと・・・

真田 孔明：

1社あたり頭が低いから・・・なるほど

北野会長：

そうやる？考えかたやから

真田 孔明：

めんどくさいですね。1社あたり頭の低い会社を10社もみたら

北野会長：

これも今、海外にもふやしてやな。今度、金を飛ばすに使おうかなと思って。金を飛ばしてね。まず、ビザをとって預金口座をつくって。金を流しておく。ヨーロッパも今、完成したから今、今度、孫にはハワイに来てやな。学校なんてね、多少できればいいんやから。今度、ハワイに来て遊んだらどうと。妥協しとる、人はやっぱり伸びるね。妥協点が大事やろうが。会社あるやる？東京でもいいし・・・適当に。金は余っとる。心配せんと遊んどれと。本人は悪いことの道具に使われておるのは知らん。そういうところが小さいときから目についとると全然、違うと思うやて

真田 孔明：

逆に執着心がないかもしれないです。お金の・・・

北野会長：

そこやてね、あとは。でも、Nの今、コンピューターを2台ほど買って、買ってやな。やっぱり株とかさ、僕の持っとるノウハウを今度、吸い込ないと・・・あれを自動的に動かせるように。結構、四十何年の蓄積っちゃね、いろんなこと知っとる。どんなときに株が上がるとかさ

真田 孔明：

株歴も、もう四十何年ですよ？

北野会長：

でも一番やっぱり強いのは情報や。これに勝るものはない。この頭でいっくら考えとってもね、ああいう安定したものをとれんがね。バッチは安定したものをを見つけるのがうまいやろ？だって、どうしてあんな・・・でも、彼らは全然、買ってないんやよ

真田 孔明：

なんでですか？

北野会長：

政治家が株なんかやったら大体おかしくなっちまうやろ、頭が

真田 孔明：

あの人たちは属性が違うわけですね

北野会長：

あの人たちは政治を法案を通すことが命がけだね

真田 孔明：

やっぱりそれは本当なのでね。本当にそうになっている

北野会長：

お金もうけにはそんなに集中はしてない。お金はほしいやよ、お金はほしいの。お金がほしいんやけど、お金をもうける能力がないね

真田 孔明：

結局これもだっで見えとかいろいろ周りのあれで使っちゃうんですね？

北野会長：

あの世界もね、かけ上がるほど、若いもんに餅代やとかさ。わけのわからんことを言って全部ばらまいて喜んどるね。払う人ほど強い。例えば俺がさ、この指とまればみんな、わーっとなつがる。これが法案やからね。みんなそういうこと・・・システムが

真田 孔明：

このときに来た人にはちゃんとかうやって。しかも何も口座に残らないチップが

北野会長：

チップがどんどん入る。ということはどこかにそのチップを出す人がおらんと世の中まともらんやろがよ。先生の給料なんてものすごい安いよ

真田 孔明：

3,000万でも・・・

北野会長：

3,000万のうち2、3軒、持ってやよ。秘書を雇って、そんなもん。あんなひどい生活はないよ

真田 孔明：

車もカローラじゃだめですもんね。何かセンチリーとか乗っちゃいますもんね。つつい・・・

北野会長：

あれが一番ひどい生活やろ。お金、持っとる政治家なんていないんでない

真田 孔明：

昔から歴代の人じゃないと

北野会長：

本当にお金を持っとる言う人・・・鳩山さんみたいに、親がたくさん持っててさ、息子、息子、1,500万ずつ毎月チップでもらっとりゃ別やよ？

メンバー：

移動距離が長いですよ。東京と地元を往復しないといけないですよ。夜行列車で帰っていました

真田 孔明：

参勤交代みたいです。昔の・・・

北野会長：

それが当たり前の世界やから。やっぱりひどいんや。だから、皆さんの努力。でも、毎日60万、80万のスーツを着てやよ

真田 孔明：

アオキで買うっていうわけにはいかないですもんね

北野会長：

あの商売が一番ひどい。でもね、あの人たちが一番、情報を持っとっていい世界におるんやけど。それを金にかえるようなみっともない人はいないね。聞くとね、なんでも知っとるやよ・・・本当に。だから質問するのが好きでね。これどうなるのとかさ。今どこが輸出が伸びているの？とか。こういう具合に聞くとわからん。相手は何を聞いておるのか。質問しとるこっちがわかっとなるので。投信でもさ、どこが。何か審議があったらしいですね。お、審議、今やっているん

だよ。あ、そう。官僚のほうはどこが会社が何か予備タンわかる？余力。申請したときに申請するさ。うちは実際的に向う6カ月っていうよりも、もう10カ月分ぐらい金を出す余力を、やっぱ言うがやて・・・強い会社ほど。弱いところの担当者は、え、うちはそういうの。やってみないとわからないっていうのは、だから五千六百本やら八百本あるやぞ・・・投資信託が。その中に本当にもうかるのはこれだけやと。あとは、わけのわからん30円配当やら20円配当やらって言うておる会社と、まるっぽ原価が下がっていつている会社。だから世の中、ひどいやて。ピックアップされたものを聞いて・・・予備タンの多いところね。300円でも予備タン多いいうから、「よし！」っと・・・ただそれだけなんやて。例えばトリプルエンジンが俺、聞いたときにもう50カ月あったね。あの会社が・・・

真田 孔明：

2018年ぐらいまで

北野会長：

50カ月あるのに配当金、下げておるやろ？ということはもっと何か強硬な足固めをしとるいうこと・・・何かで

真田 孔明：

長くもつように

北野会長：

今度あれが140円で今の配当代をとったら今度、高い、値が上がったら7,000円、切り上がって8,000円とかさ、1万ちか。そんなでないかなと思って。そうすると今度、買った我々にするとやっぱりさすがあの会社おもしろいと。次に出してもまた買うやろ？それを狙っておるんでないかなと思うね。あの会社が特に。弾も今のところどんどんと入ってくるやろ。おじさん、頼む言うたらどんどんと入ってくる、100億ぐらいは・・・

真田 孔明：

黒のおじさん。ブラックのおじさん

北野会長：

やっぱり、つてのあるやつは強いんやて・・・だから。つてのないやつは金のないやつはだめ。だから今の本当に3大銀行と言われるのは、あのおじさんちを逃がしてしまったから弱いね。もともと悪の塊みたいな人たちは組織図から離れていったわけ。あの合併のときで・・・だからちらばっているけど、金は持っているけど、みたいな人が多い。無職だけど銭は弾がいっぱい持っとるでさ。お前、何千億、持っとるんやからキャッシュで・・・キャッシュであれだけの銭はひどいよの

真田 孔明：

ラスベガスのおじさんですか？

北野会長：

ハワイにしたって何千億ほど持っとるんやて・・・うちのブランデーで60万やとかさ。わっけのわからん値段をつけて売っとる

真田 孔明：

マッカラン。マッカランが妙に好きになっちゃった 笑

北野会長：

ああいうだから商売をやってんがやから、怖いや

真田 孔明：

会員6,000万ですからね。あれ会費が・・・

北野会長：

6,000万、10人で6億。そうやる？金なんてね、人からとるのが当たり前みたいなような発想ね

真田 孔明：

しかも絶対その人たち使いきらないですよ。そんな6,000万も

北野会長：

マウイにも俺、ホテルを持っているんで使って。軽いよ。やっぱり力があるのと・・・何かね・・・ほとんどはみんな余裕があるね。さっきの俺と一緒にこと言うね。体が弱なると金を使えんようになってたまるものは金ばかりや。昔はね。若いときはこうやったいうてね。若いときの話、聞きたくないわいって思うぐらいみんな馬力はあったんやろうね・・・

真田 孔明：

今、僕たちの若い人たちって馬力がない人ばかりですね。そういう意味だと。そっちの・・・

北野会長：

そんなこと。皆さんはどうか知らないから。私が行っところの人たちはみんな元気があったみたいよ

真田 孔明：

若い人で

北野会長：

若いってもうみんなおじさんやもん

真田 孔明：

昔の人はすごい馬力がありますよね？

北野会長：

だからそういう人だけが残っとるって・・・逆に・・・

真田 孔明：

逆にそうか・・・いっぱいいる中で・・・

北野会長：

ところがね、80近くになると友達の数が増えなくなる。みんな死ぬのと倒産してないのと、ものすごく少ない。だからちょっとでもいい話を聞きたいと、お前、こんな話、来たぞとかさ。暇やるがよ。そういうので、もちきっとるらしいよ。魚を釣りに行っても何か船酔いじゃないけれども、何かそれほどおもしろくない。ゴルフをしてもそんなにスコアが伸びないやろ？そうすれば金もうけがやっぱり一番の趣味になってまうやろ？金もうけは飽きない。携帯電話がありゃさ、結構、楽しい。そんなような話はよく聞くね。最近の楽しみはこれだな～みたいなことを言うてるね。たまに京都に行って芸者をあげて遊んで・・・でも、体が続かない。二日酔いがきて・・・みんなそんな話をしとるよ。日本の会社、当然、日本に会社をいくつも持つとるんやから・・・素晴らしい。何千億もキャッシュで持ってるって言われてどうしようもないよね。投信を買ったの10億ずつ買ったみたいなこと・・・俺のほうが目が上がってしまう

真田 孔明：

聞いた話で・・・しかも。ちょっと聞いた話で

北野会長：

お前さ、フロリダにもあれいてさ。紙をもらいに行ってくいって。いらんて、そんなもん。俺かてチップを俺のところへは入れられないやろがよ？世の中の仕組みからいうと。おじさんらはやっぱりしんどいちゃうもんか知っとるね。世の仕組みを知っとるから怖い

真田 孔明：

ちゃんとチップをくれに行くんですね

北野会長：

くれるけどそのチップも俺が使う・・・使えんチップ。金額がでかすぎて・・・よう来てくれたから言うてご飯を食べさせてさ、銭の500や1,000万の小切手やらポケットの中に入れて。5,000万もチップ・・・そうやる。どこかこっかにこれもらいましたって言わざる負えんような金額や

真田 孔明：

そのままね

北野会長：

孔明、お前、そのとき端のほうだけ俺の分にしてこれって、できんやろ？

真田 孔明：

できないですね

北野会長：

だから、でかい話は怖い

真田 孔明：

でかい話はそのままお上に。

北野会長：

お上やで、迷惑やで

真田 孔明：

それもらっちゃうと、いろいろややこしいですね・・・また・・・

北野会長：

ややこしい。どこかから兵隊が上がってくるからさ。ガッチャマンになるかさ。ろくなことにならんて

真田 孔明：

そのおじさんたちもよくわかっているんですね？今、すごい世界だね。ついつい、もらっちゃいそうだけどね 笑

北野会長：

ぱっとわかるやで・・・ぱっとわかるよ。人の心が・・・きらりとすぐわかる

真田 孔明：

5,000万はそのまま上に持って行く・・・

北野会長：

持って行くとね、信用がつくがやて

真田 孔明：

あの挨拶に行く・・・陳情でみんな来ている中・・・

北野会長：

いつもフリーパスやよ。挨拶って。ダ〜と廊下に待っとる・・・

真田 孔明：

ずらっと

北野会長：

どうぞって

真田 孔明：

スーツを着た人たちが

北野会長：

どうぞって！一直線や！

真田 孔明：

もうみんなスーツを着ている上場企業のおじさんたちを横目に・・

北野会長：

はい、みたいなもんです。はい、行ってきましたみたいなもんです

真田 孔明：

小切手をそのまま。小切手は喜ばれるんですかね？大丈夫ですか。小切手は。残っちゃいますよね？跡。これは普通に海外の人・・海外居住者はいくらでも献金していいんですよね？海外法人は・・法の何か穴があるみたいで。よく見ていくと。日本居住者はいくらとかあるんですけど海外居住者はいくらでもいいんだよ

メンバー：

へ～

北野会長：

関係ない

真田 孔明：

すごいですよね？これ・・

北野会長：

だからああいうことをへっちゃらでやって自分の力を見せつける。わかる？自分の・・俺はこんなんだぞいうことを見せつけとる

真田 孔明：

ラスベガスのおじさんが・・

サッチェル：

ブラックのおじさんたちが見せつけているってということですね？

北野会長：

そう、少年をだしに使うてや・・・汚いやろ？

メンバー：

そういうことなんだ。会長はそれを渡すだけだってということですね？

北野会長：

汚いやろ？この・・・

メンバー：

そういうことなんですか

サッチェル：

自分で行かないんだ

北野会長：

自分で行ったら価値が下がるやろが。だから少年に運び屋に使って・・・

真田 孔明：

向うは会長にあげているっていうことになっているんですよね？一応・・・

北野会長：

格好よくそれで言わなきゃさ

サッチェル：

会長はそれをお届けしに

真田 孔明：

お届けしに行くと・・・

北野会長：

それをちょんぼしたらどういうことになる？そうやろ。必ずおじさんは必ずいつか言うがやて。

ああ、この間、少年が来ていったもんで、5,000円ほど小切手を切っておいたけど届いたかな？って言われたら終わりや

メンバー：

確かに

北野会長：

一発でぴーんと・・・わしなんか、そこまでぐらいう見えとっから

サッチェル：

それは腹が立ちますね。ちょっとね

北野会長：

だからどこにでもいろんなところの駆け引きっちゃあ存続しとる

サッチェル：

危ないなそれ、ついつい入れちゃいそう

真田 孔明：

難しいな

サッチェル：

難しいね。これ知らないと

北野会長：

これをね、さらっとまでやっておくとやっぱり相手もこの男違うなとかさ。それをまた友達に、彼は違うから。金持ちだし。金を持つとるの違うて。5,000万とらんがやから。金持ちやるが？とは言わないけれども、雰囲気的にはそんな感じ

真田 孔明：

普通もらっちゃいますよね。普通の人だったら

サッチェル：

額が多すぎるというのはそういうことなんです

北野会長：

額が多すぎると本当にもらいにくいね

サッチェル：

これはわかっているよなっていうことなんです

北野会長：

わかっているなっていうよりも次にいつか話したときにさ、こっちが嫌な思いをするのは嫌やる？俺も銭がないわけでないからと思ったりするけれども、なかなかね、心は迷った

真田 孔明：

小切手が・・・笑

北野会長：

でも駆け引きの中にはそういうことっていうのは多い。それは銀行の支店長にも言う。飛ばす1億。孵化する3億、5億。いろいろあるけれども、やっぱり信用はね、金で買えん。信用は金で買えんし、信用は積み上げると金よりも資産価値がでかい。金よりもでかい。だから俺は信用っていうものを大事にしたいな・・・

真田 孔明：

まさに信用創造を・・・

北野会長：

俺はよく自分の子と孫に言う。約束と時間と金と。この三つさえ、きちんとしとれば人は永遠におる。どんだけやんちゃしとっても大丈夫。この三つさえしっかりしとれば。この三つの一つ崩れるともう全部終わり。だから、金っていうのはこの中の1個やから、金にはだからシビアできっちりしておかなきゃいかん。金っていうのは1回払わんでも約束を守らんだったらさ、時間も狂ってくるやろ？何月何日に返済っていうことになるから。逃げた男ほどこの重さわからん。そんなこと言わんとね、来月でも・・・とかさ。会わんとってそういうことを言うたら、もうへっちゃまな顔をして言うたらものすごい難しい。だから、長生きするちゃ、ものすごい難しい。皆さんも自殺せんと長生きして会社を残していくこと。会社をつくればつくるほど金をくれるんやから・・・国が。

真田 孔明：

延命していればですね。生きていけば。黒字経営で。決算書ベースで。耐えるだけ

北野会長：

いくらね、パナやSやM銀行に行っても住宅ローン以外は誰も貸してくれん。だから、我々半端者はそこを喜ぶべきなのか、でも企業はさ、みんなわかっと思うけど、自分が成功して従業員を雇えば従業員に給料を払うわけやろ？その給料の源泉っていうのはまた国へ入っていくわけやから。だから、我々は国家のために働いておる人間のがやて。きちんとまとめて言うと国家公務員の一番最上級のポストにおると。こういう具合に思っとれば

真田 孔明：

納税もするし、献金もしているし、給料も払っていると

北野会長：

そう

サッチェル：

雇用も作って

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

消費税にも貢献して

北野会長：

一番よく払うんやから。そういう具合に自分を分類しておくとかいうばかな明るいおじさんができるわけよ

真田 孔明：

フリーの国家公務員ですね。フリーのエージェント

メンバー：

納税エージェント

真田 孔明：

納税エージェント

北野会長：

だからデータを上に言うほど上の人は喜ぶんやて。上の人は毎日、ネクタイを締めてさ、議論ばっかりしとるんやから。実態は知らんわけよ。だから、実態を言ったあげたほうが相手はものがはっきり見えるわけ。信用できる人間っていうのはそういう価値観がある。それが一番の信用。シンガポールにいるの？シンガポールでも会社をつくっておるんやろ？

メンバー：

つくっています

北野会長：

また悪い会社をつくっておる 笑 彼は、目が最初、会ったときから遠いところを見とるね。遠いところを見とることっていうのは何か言うと、神経が近くに焦点が合っとらんわけやから、結構、悪いことを淡々と考えてとる。だから、遠くを見つめるっていうのは・・

真田 孔明：

Mさん、大丈夫ですか？

メンバー：

笑

北野会長：

そういうところがある。結構ぎりぎりのところへ来ておる。潰さんように気をつけとけ。やっぱり誰の力を、てこの原理で利用してもやっぱり生き残るっていうことを一番に考えとかんと・・・プライドや見えでやっぱり潰れていかないように。俺もね、1個だけね、けつを追われて、清算した会社があるの。借金も2億ほどあった会社を清算したんやから。潰すと汚点に残るやろ？清算しようと・・・ということで官報に1年間で。新聞があるやて。1年たったときに清算して、一番最初につくった会社が一番最初に整理したね。もう切っても切れん・・・泥がとれない、わかるやろ？洗ってはおるんやけど、泥がぬぐえない・・・だからこれは清算、ぴしっと清算して、もう清算する言うてさ、今度、ガサをかけてきても日にちの勝負になるやろ？そこにも勝負をかけたわけ。それはうまくいって、それからどんどんまた会社をまたつくって・・・

メンバー：

清算しても融資はあまり関係なく・・・

北野会長：

清算はきれいになって。銀行に2億何千万か返して。あと一般債権者にも・・・新聞屋さんみんなぴしっと払って清算しました。清算人は俺やから。清算完了報告書も書いてさ。そういうときほどこちんとかまめに手を入れておく。何か真実が深いように感じる・・・深いように感じる・・・感じるだけ。あれからそうやね。あれから会社をつくるのがもっと拍車がかかったよね。だから、とりあえず五つほど会社の名前ね適当につけてさ。また、マンション売りに出とるやつどんどん買って、会社も買ったよね。3軒ぐらい会社も買ったよね。売りに出とった・・・赤字の会社が好きでね。俺。赤字の会社っていうのはほとんどがね、元本返済をかけてる、で赤字になっとるわけ。実態、誰も返済しなくて給料はとらなかつたらものすごいそこそこのいい黒字の会社になる

メンバー：

あ～

北野会長：

そういうのを買ったね。俺はジェントルマンやから全部はキャッシュで、それで要は今度ね、赤字の会社っていうのは要はここに大きな金庫を持っとる。例えば5,000万、赤字やったと。5,000万埋め立てしても1円の税金もかからん。だからすごいね、金もうけにはいいシステム。今度、ここ埋め立てが終わったら今度は給料をとるが・・・家族で。決算書800万ほどにしておくか。ここから簡単、入ってくる家賃収入決まってしまうとるだから、引き算だけ。800万に

ポイントを置いて所得申告して。そういうことなんや。簡単に言うと。だから逆算やから、ものすごい計算の仕方が楽や。だから、一番自分の家にも、関連しとるところに事務所をつくっておくとさっきも新聞とかさ、テレビとかさ、こういう経費がはっきり出てくるから実態があるよちゅうことを言いたい。そこらが一番、このゲームでは大事なこと。だから、この前、ジョホールバルでは管理会社・・・自分の、自分個人の管理会社を持てばいいと。何んぼでも赤字でも大丈夫やよ。ここで赤字をいっぱいつくっておくやる？今の金庫をつくっとるのと一緒やから。最後に自分からどぼっと入れる。1円の税金もかからんお金をためとったと同じことやから・・・

真田 孔明：

これは経費として認められるんですか？赤字で。そういうのは。家賃とかも、何か住んでいるところは何パーセントとか。そういうのは聞くんですけど。そういうのは大丈夫なんですか？

メンバー：

法人で契約したら社宅とかに・・・

真田 孔明：

法人で契約したら・・・最初から・・・

メンバー：

1割ぐらい払わないとだめですけど・・・

真田 孔明：

1億？

メンバー：

1割。例えば10万円の家賃だったら、会社で契約したら社宅として払ったら安くすんだことあるんじゃないですか？あれと一緒にのこることをやったり。とにかく使えるんですよ。繰越欠損金というのが9年、積み上げられるので。赤字を。なので、9年以内にその赤字を決済すれば・・・

真田 孔明：

もうかっているところから

メンバー：

赤字の会社を持っていると別の会社で同じ代表をやっていたら融資はできません

北野会長：

変えればいい

メンバー：

代表を変えればいい・・・

北野会長：

代表者を変えて・・・それまではどんどん赤字をつくっておっても、それが代表者やる？赤のところの代表者を息子さんとかさ、奥さんにでも変えて・・・それで。A、Bが同じやと結構、税務署はうるさいから。そういうときはやはり奥さんの名義。息子さんの名義にしたほうが安全

真田 孔明：

でも家族でも大丈夫なんですね

北野会長：

全然、大丈夫や。家族は他人の始まり。笑 もっと借用書、売っとるからあれ金利いくらで何年払いていうのは先生あるでしょ？あれにきっちり書いておくが。例えば子供に1億ずつ、俺は貸しておるわけ。子供はもともと銭がなかったから俺が持っとる銭を1億ずつ貸してやったやて。借用書をとったの。きちんと。そんで子供は何をやっとるか言ったら、それであんたらちと一緒にものを買っとるわけよ。1億ほどずつ。今はもう3億ほどになっとるん。ここでや。ここで今度、返済金という形で1億の元本を俺とらんのやる？50万ずつ今度、回収しとるんやて。やっぱりね、何事も知っとるやつと悪いやつに聞いたほうが、いい答え知っとる

真田 孔明：

知ってる人って重要ですよ

北野会長：

これね、俺もおじさんらちと話したらね、こんなことをやったんだよって冗談で言うけれども、俺、あれこそ真実やなと思うことが多いもん。さらっと言うからね、おじさんらちはね、苦労したんやなと。友達が少なくて寂しいとかさ、話したら寂しいなってね。たくさんいたんやねって。でも、今、残って1人とかさ。残ってもん同士でしゃべっておるやる？地域に本当に何人しかおらんのやて。きついやつが。あとは全部つながって金を貸してくれとか、何かしてくれ、何かっていう人がほとんどや

真田 孔明：

みんな頼っちゃう人ばかりになっちゃう。ゾンビになっちゃう

北野会長：

それもひどいと。昔は、肩一緒やったのに、今はね、朝からさ来て、金や、金やいうて・・・

真田 孔明：

この間、ご自宅にいらっしゃったKさんは、あれは。お友達の・・・土建屋さんをやられていた

北野会長：

そうそう。ああいう人たち。昔はものすごい強い人やったの。ところがやっぱり飛んでイスタンブールになるとね、もう酒飲ばんばんとやとった人がさ、飛んで金がないやろ？やっぱりひどいんやて・・・ひどい。全く金がないっていうのは本当にひどいよ

真田 孔明：

でも、何かモレックパイン3を買うとかなんとかっておっしゃって

北野会長：

あの人は全然違うの。あの人はね、ここ10年ほどで勝ち上がってきた人で・・・

真田 孔明：

ここ10年なんですか？

北野会長：

ここ10年。この間、国税からガサかかって2回ほどガサが入って、それで胃癌になったんや・・・やっぱり心配したんやろね？俺に、お前は先輩やから教えてくれ、教えてくれ。そんな変な話しね、あまりせんといてみたいなことを言うとするんやけど。不動産でも買わんと。ジョホールバル、ハワイも5億ぐらい・・・

真田 孔明：

ぼんと

北野会長：

ぱんぱん、ぱんぱんと買うたんやて。今度ガサが入ったら神経を使うやろ？やっぱり守らんならん人もおるやて・・・やっぱりね・・・金っていうのは。守る人のためにチャックをしておかならんやろ？自分はつらい、税金も納めんならん。この間、ヤケになってジョホールバルもついでやから買っておくかと・・・金を埋めておる。金を埋めるっていうのはハワイはアメリカドルの変わりに・・・ジョホールはお前の言うアジア圏のお金やと。こういうことでマンションでも買って、ねかしておくんやてね。金で置いておいたら危険・・・そういうとこなんや

真田 孔明：

今じゃあ、この金どうしようかっていうことですね

北野会長：

金がもうかるときはあんたらちも今、全然そういう雰囲気の人はいないけど、金がもうかるいう銭の5億や10億じゃねえから。ばたばたばたっと金が入ってくるんやから。金っていうのはそんな・・・なんや、こんな金。どうしようかなって、考えとる事がひどいんやて・・・金っていうのはそういうもん・・・本当にひどい。金が入って困ることっていうのは・・・

真田 孔明：

飲み屋で金のなる木って・・・

北野会長：

本当。金っていうのはね、入るときは無茶苦茶に入ってくる。何か一発台のパチンコの何かが入ったみたいな感じ・・・

真田 孔明：

フィーバーみたいな、確変がとまらないんですね

北野会長：

がちやがちやがちやがちやとこうくるわけ。一発、何かで当てるとそういう現象が起きる。そのときに脇を締めておらんとあかんが。わかった？もうかったときに脇を締める、これだけは覚えておかれ

真田 孔明：

小さい範囲ですが・・・

北野会長：

いくらなんでも孔明にしたって1億7,000万、飛ばすっちゃ、ほっとけばあんなもん、あのまま10年たちゃ10億の銭、10億の銭が100億になるがやから

真田 孔明：

1個の案件であれで、ほかにもいっぱい飛ばしましたからね。 笑 あのときやったの全部、飛ばしてる・・・何なんだろう・・・

北野会長：

結局ね、俺、この間も言ったけど、金は奥さんに預けておかにゃあかん。これは自分が持つと勝手に使えるやろ？奥さんに要を持たせておくとかやっぱり相談せんとならんやろ？今度これをしたから投資せんあかんとかさ、やっぱり、一応は言うがやて。これがないとね、チェックの機関、経理の先生がおらんと一緒やないかい、適当に・・・酒も女も・・・ミソクソー緒になってやるとそうになってまう

真田 孔明：

本当にばかですね

北野会長：

後悔先に立たず言うて 笑 わしはね、昔からそれが少ないね。ほかの人から見ても金をうちのものが持つとるから。これは絶対ね、印鑑と小切手と絶対に自分で扱わんが。これいくら俺が慎重やいうても絶対に失敗するがやて。友達やと情にほだされる。ちょっと調子がいいと保険屋

のお姉さんに・・・そっか、保険屋のお姉さんも女やしの、みたいなことを考えるとついついやっぱり流れていくんやて、金っていうのはね。これをかみさんが金を持っとると友達が例えば、孔明、知っとると金を借りに来るやろ？俺、金はどうか知らんけども、金こっち・・・握っとるのはこっちやから。保険屋さんも一緒やから。ところがね、俺は知っていてもこっちにね、それを言うのってものすごい嫌なもんや。男っていうのは、そうやろ？断るのが楽や、俺は金を持っていないからね・・・どうしようもない。だから、孔明にこの間から奥さんに金を・・・やっぱりチェック機能として大事。そんなもんいくらね、金をもうけても一緒やろ？チェック機能がないもん

真田 孔明：

ないですね

北野会長：

そうやろ？当たったか外れたかいうてそんなもん、どんだけ弾が投げてみたってなかなか当たらんぞ。たまたま当たってみたって次、また当てにならないから。そういう無謀な考え方はやめたほうが俺はいいと思う。俺は絶対にそういうことしないもん

真田 孔明：

ちなみに飲みに行くお金とかはどうやってもらっていたんですか？

北野会長：

飲みに行く金きゃ。飲みに行く金は各会社で請求書の出せるところは全部、会社や

真田 孔明：

会社に

北野会長：

全部の会社へ振り分ける。昔ね、6,000万から7,000万ほど飲んどった・・・

真田 孔明：

年間？

北野会長：

年間

メンバー：

うお～

北野会長：

今ね、なんとね二千何百万や・・・体が弱くなって・・・

真田 孔明：

それでも！！

北野会長：

これに伴って同伴がないやろ？飲み屋のツケだけでないやて、同伴がない、デートがない、食事会がないから。ものすごいもんやよ。これ昔ね、この自分のポケットの中に入れる金を集めるのにもものすごい企業努力をしたの俺

真田 孔明：

奥様が握っている中で！

北野会長：

この握っとる中で能力と体力を！！

メンバー：

爆笑

北野会長：

ひどかったんやて・・・何時になった。結構、時間もたっとるやろ。

真田 孔明：

9時です

北野会長：

チェックしておいてくれ。このカードを持って行って・・・でもやっぱり、俺が今、冗談で言ったことを参考にして会社も余計につくったり、金も集めたり、冗談やと思ってやらにゃあかんよ。そんな賢く、固くなったらできないから・・・難しいことやから・・・ふわっと。肌が触れ合うような感じで。人間しか相手でないからね。このゲームは。だから、人間関係を大事にせなあかん。何よりも人間関係を大事にすること

真田 孔明：

レシートになんて書きますかって

北野会長：

何が

真田 孔明：

レシートに何か名前とか書きます？

北野会長：

全然、俺、レシートなんか会社に出さないから

真田 孔明：

いらないですか

北野会長：

出たお金が出金。これ簡単なのよ・・・これ何ですかって言うやろ？「これはハワイか、ジョホールバルか・・・上海やないけ？わからないときはあんたが上海に行って調べてくれ」俺が記憶をたどるよりもあなたが現場に行ききちと聞いたほうが早ええ。誰が来る者おるか？そんなの・・・

真田 孔明：

しかもレシートがなくてもないですって言ったらもう向うは・・・

北野会長：

ビジネスカードやもん。会社のカード何か適当につくっておくが・・・よくそういうの何か言う人おっから。全部、あんた調べて来られ。50歩100歩や。1個違ったら許さんぞ言うて。これくらい皆さん、知恵回らんやろ？1個、間違ったら俺は許さんぞいうていつもいう

メンバー：

笑

真田 孔明：

東京は次、何かやりに行くんですか？

北野会長：

今度、俺、地中海クルーズでいないもんで、帰って来てからいうたらもうあの日が大体ぎりぎり。ちょうど東京にもちょっと案件があって、用事があるもんで。だから東京もいいでしょ？たまには

真田 孔明：

東京の法国家の中だから。言えることが 笑

北野会長：

まさかヨーロッパまで船に乗りにきてくださいいうてね。10日間以上、空けますよってね、そういうね、ちょっと言いにくいし。帰ってきて日程が決まったもんで。だから、東京なら、それからまた旅行にどこどこへ出て行くっていうスケジュールは立てていないんやて。6月はもうハワイはチケットが来ることだから

真田 孔明：

東京だとどこにします？食べに行く場所って・・・

北野会長：

どこでもいいよ。東京どこも近いから

真田 孔明：

ホテルの近くのほうがいいですかね

北野会長：

近くても遠くても。どこでも、タクシーで二、三十分走ればどこでも行けるとこやから

真田 孔明：

逆に東京って選択肢がありすぎて難しいですよ

北野会長：

どこらがいいとかっていうのがあるんなら、どこでも行くよ。私はほとんどゴルフと魚釣りとあと旅行と、この三つを組み立てて遊んで生息しとるだけやから。毎日、考えとるというのがきょうは証明できたでしょ。日々、考える・・・

真田 孔明：

それが一番の仕事

北野会長：

あとは情報収集と・・・それだけやね。実際の労働は一切していないんやから。お金も触らないし。最近、変なものも触らないから大丈夫。全く安全パイやて。だから、皆さん、例えば団体戦で遊ぶとかさ。例えばわしと遊んでおると銭がかかっから。だから、せいぜい2日なら2日、食事をぱぱっとして皆さんはまた仕事に戻られると。私は継続して遊んどると・・・こういうタイプなんや。ちょうど日々のゴルフが週2日ゴルフをやっているから。2日ゴルフをして2日釣りでっていうような日々

真田 孔明：

すげえ。いろんな国で

北野会長：

そうそう。忙しいんやて。結構、忙しい

メンバー：

笑

真田 孔明：

ハワイでも釣りに行かれるんですか。

北野会長：

行くよ。ゴルフをやって釣りをやって、あと。そんなような生活やから。のんびり

真田 孔明：

今回ハワイでコンドミニウムに泊ってみます

北野会長：

やっぱりああいう練習も大事

北野会長：

ホテルよりキッチンがあるから。毎回、毎回ステーキ、ステーキだと疲れちゃうんですね。ちょっとね。1食やっぱり4、5万かかったりするし

北野会長：

特にハワイは4、5万かかるね

真田 孔明：

かかっちゃいますよね。何か。家族4人で3、4万とか

北野会長：

ハワイで毎日、外食をしとったらね、飛んでしまう。

北野会長：

みんなぼったくり価格だから。どこで食ってもぼったくり価格

北野会長：

5割増しの価格やる？チップが15%から20%乗せられて。だから、アメリカ人は金ね、持っていないっていうのは本当や。1%の金持ちが99%の金を集めてしまう。システムがそうなるの。貧乏人は永遠に上へは上がられない。中国はだからいい国なのよ。そう思えば中国は俺・・・だからさっき皆さんに言うたね。これで真っ青な空になったらものすごいいいところ。ここ。そう思わない？これだけの建物があたって、これだけの価格で物を食べさせてくれて。経済が伸びる。人口は減少するいっても日本の人口からみたら今でも14億ぐらいいるんやから。ものすごい強い味方やよ、これ

メンバー：

う〜ん

北野会長：

俺はまだ人から見たら上海市場はもう天井を打ったんでないかっていうけれども、俺は上海事情は逆に言うと中国の政府も・・・皆さんどう思う？中国の政府も北京から見たら香港に権力を株の権力をとられておるやろ？あれよりもやっぱりここへ持って来たいよね？ここは自分の傘の下や・・・上海は。ましてこれだけのインフラ整備になっとるわけやろ？どっち選ぶ？

メンバー：

はい

香港に行ったらデモがあるよ。ガキどもうるさいぜよ。字は小さいぜよ。そういうことを思ったら俺は、俺がもしトップやったら、やっぱ上海をでかくしたいな・・・やわやわと。やはりそういうスタイルのほうが俺は安全パイでないかなと・・・ここなら目が届くやろが。上海市場を大きくさえしときゃ。これからやっぱり伸びるのは中国やて。この人口が違うもん。日本なんか100万人ずつ、ばたばたと少なくなっていってしまうやで

真田 孔明：

うん

北野会長：

みんなでやっぱり子供4人のマレーシアに移るか、老人がふえていく中国にも俺はビジネスチャンスはあると思うよ。何よりも国民均等に金を持つとるいう国やからいいと思う。金持ち、1億以上持っている人が1億2,000万人やら4,000万人いるんやろ？こんないい国ないよ。アメリカいつかそんな日あった？アメリカも昔から5%の人間が95%の金を持つとるんのやから・・・あの国は。そういうことをやっぱり皆さんも研究しとかなあかん。俺はだからこの国が一番やんちゃ、頭は悪い。だからこういう経済になつとると・・・ひっくり返してみるとね。でも、習近平さん、自分の兄弟分を摘発して殺しておるやで、あれは。すごうない？でも、もともとこの国はいつも内部から崩壊していくわけや。今回も恐らく同じことになるのか・・・どう？俺は結局、同じことになるんでないかなと。海外に逃げて出た人も今、全部、逮捕状を出しとるんやろ？各国へ・・・全部身内やで？元の。すごい国やね。あれ、なんでやっているかっていうところに焦点、考えたことない？

メンバー：

はい

北野会長：

俺、ずっと10回ほどゴルフをしながらあれを考えとったんやけど、やっぱし自分の一門一党が生き延びるためには敵は殺すと。徹底的に追い詰めて殺すと。これをやっとなるんでないかなと・・・この国っていうのは昔からそうやから、そこに執着心が強いよ。だから最後まで殺す。上海だったら温家宝とかさ、あの代までたたくんでない？この調子やと。これ逃げようがないよ、前の一族も全部・・・ばかな歴史ある？

メンバー：

う〜ん

北野会長：

だから韓国もよく似とるやろ？前の大統領と。大統領をやめたら逮捕してさ。そうやろ？パク・クネやね。売春や、売春や、売春や。てめえが一番やっちゃ 笑 だから、日本っていうのは俺、すごいなと思う。あれくらい宣伝した時も、安倍さんも誰もちょっかいもかけない。ほとんど無視やないかい。もうカナダはやめたやろ？ほかの国も全部。おかしかったんやと。あの女がもうおかしいと・・・あれは脳が腐るとと・・・だんだんだんだん評判がそうになってとるわけや。だから、我慢すべき我慢した安倍さんが俺、強いんでないかなと思う。何を言われたって知らん顔やもんね。一言の言い訳もせんということが強いんでない？

メンバー：

はい

北野会長：

アメリカの学者連中が発表しとるわけやろ？韓国にはこんな歴史がいっぱいあったとかさ。だからひっくり返るとるやて。だから、ひっくり返るといふその物の考え方が韓国やし、中国でも内部から崩壊する常に元をつくっとる。わしはだからこの間から上海を売ろうか、いや、でももうかったら、でもうかったら買うのはやっぱり上海やなと・・・すごい迷うが

メンバー：

はい

北野会長：

どう見てもね、お膝元やから、ここは。俺はやっぱりここは伸ばすべきやと思うよ。交易の中心地・・・そうやろ？金が入ってくる。飛行機もそうやし。船もそうだし人口も山ほど。こういうところを伸ばさんたらやっぱり俺はおかしいんでないかなときょうの見解。この前、来たときよりも空が青かった・・・青かった。それが一番の救い。だからここはやっぱり伸びるなと。空の青さで伸びるなと・・・空の青さで解説する人は少ないと思うけれども・・・

真田 孔明：

これは占術士と一緒にですよ。占術士もそういう感じで判断してくる・・・すごい

北野会長：

きょうは孔明さん、いろいろカードまで切っていただいて

真田 孔明：

お金が余っていますから

一同：

爆笑

北野会長：

だいぶ慣れてきとるね。ぜひ、次回も僕に出させててくださいと・・余っとるのは金だけです
と・・

真田 孔明：

マレーシアは使いようがないので。服もいつも一緒だし・・

北野会長：

そういうことが一番ね、人格を高める・・本当に・・さ、ほな行きますか

メンバー：

ごちそうさまです。

メンバー：

ありがとうございました